

第 15 回野生生物保護学会大会報告

大会長 時田昇臣
(日本獣医生命科学大学)

第 15 回野生生物保護学会大会については 2009 年 11 月 6 日より 3 日間にわたり日本獣医生命科学大学において開催させていただきました。今回大会では事前登録制により 132 名の方々より申し込みをいただきました。また、研究発表については、口頭発表 14 題、ポスター発表 35 題を受付けました。さらにテーマセッションとして 7 件に及ぶお申し出をいただき、各代表責任者を中心に運営管理していただきました。いずれも詳細な観察や実験データを提示され、活発に議論されましたことはたいへん喜ばしく思っております。一方、公開シンポジウムでは「食資源からみた生物多様性」として 3 名の専門家をお招きし、食産業、漁業、そして農業という一見異質な取り合わせとも思える関係の中から野生生物の重要性や自然についての認識を再発見していただけたものと想像しています。このシンポジウムには次世代を担う高校生にも呼びかけ、会員と合わせて 100 名あまりに達しました。懇親会には 72 名のご参加をいただき、予定時間を過ぎてもなお熱心な交流が続けられました。これらにより今回大会が無事に開催できましたことをご報告いたしますとともに、開催に向けてご尽力いただきました理事役員、会員各位、ならびに関係の皆様には厚くお礼申し上げます。

最後に、今回研究発表された会員の皆様にはそれぞれの研究や活動内容を本学会の会誌に投稿いただきますようお願い申し上げます、大会のご報告ならびにご挨拶とさせていただきます。どうも有難うございました。

なお、次回の大会は鈴木正嗣会員（岐阜大学）を代表として、また、日本哺乳類学会と共同して開催されることになりましたので、申し添えます。